

— 次世代への架け橋をつくる建設コンサルタント —  
株式会社 高島テクノロジーセンター



所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目13番地7  
TEL : 03-5217-2303  
FAX : 03-5217-2307  
URL : http://www.t-tech.co.jp/index.html  
従業員：73名  
設立：昭和48年10月  
代表者：代表取締役社長 鈴木 進



東京都「新秋川橋」



江戸川区「辰巳新橋」



群馬県「戸倉ダム副一・小梅ループ橋」



岐阜県「一の倉砂防ダム」



排水樋管



多自然型河川づくり(イタチ川)



歩道改良(バリアフリー)工事



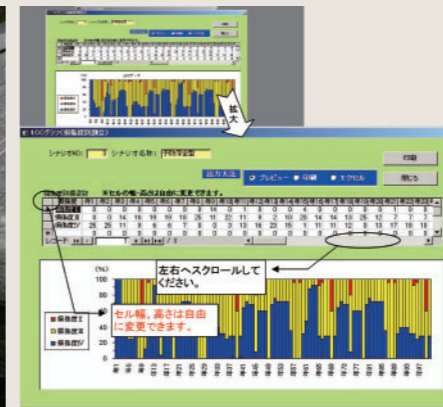
東京都「大島一周道路」



秋田県「西仙北IC」



台船使用による点検



補修予算の評価シミュレーション



社内研修会

社内研修プログラムの例

回	講座名	教育分野	講師
1	技術者倫理	A(基礎共通)	技術士 a
2	橋梁の予防保全型管理	B(専門技術)	技術士 b
3	プレゼンテーション技術	C(周辺技術)	技術士 c
4	“新しい公共”とは	D(総合管理)	技術士 d

沿革

当社は1973年、(株)高島橋梁研究所を創立、1985年に(株)国際テクノロジーセンターと対等合併、さらに1986年に会社名を(株)高島テクノロジーセンターに変更し、現在に至っております。

事業内容は、橋梁等の構造物、河川・砂防、道路等の調査、計画・設計のほか、地質調査や土壌汚染調査等を手がける総合建設コンサルタント会社です。

事業内容

弊社では次のような事業を実施しております。

・ 橋梁部門

高島橋梁研究所として創業以来、橋梁を始めとする数多くの土木構造物設計の実績を積み重ねております。代表的な設計実績としては、江戸川区「辰巳新

橋」等があります。

最近では、アセットマネジメントの一環として、橋梁など社会資本の維持管理システムの構築にも注力しております。

・ 河川・砂防および海岸部門

自然災害防災上重要な機能を果たす河川関連事業の調査・計画・設計に関する技術を提供させて頂いております。代表的な設計実績としては、「一の倉砂防ダム」等があります。

また地質調査に関するエキスパートをそろえており、顧客からのニーズに応じております。

・ 道路部門

道路に関する可能性調査から設計・管理まで、柔軟な企画力と高いプレゼンテーション力で、幅広い技術を提供させて頂いております。その範囲も高規

格道路から、生活に密着したコミュニティ道路にいたるまで、幅広く手がけております。

・ 技術者派遣事業

労働者派遣を行える一般労働者派遣事業の許可業者としても活動を行っております。派遣職種としては、土木・建築施工管理業務やCADオペレータ等があります。

社内研修

弊社では、「技術は人なり」の精神のもと、人材育成に力を入れております。具体的には、中堅社員を対象とした「社内研修会」と、若年社員を対象とした「若手勉強会」を実施しております。

「社内研修会」の実施頻度は、繁忙期をのぞく毎月1回、週末の2時間としています。講師は、社内外の技

術士や専門家が務めております。プログラムは、建設コンサルタント協会の定める4つの教育分野をまんべんなく満足するように編成されております。

「若手勉強会」は、業務に支障がない時間帯として、早朝始業前の1時間を充てております。また、その内容は、建設産業界の全体像の理解、土木構造物のライフサイクルマネジメント、地質と土木等、建設技術者として最低限身につけておかなければならない基本的知識の習得を主眼としております。

弊社では、標語「次世代への架け橋をつくる建設コンサルタント」を掲げ、日々邁進しているところです。

(文：営業副本部長 佐藤 雅宏)